



売れてます！ミニノートパソコン

最近、家電量販店などでも見かけるようになったミニノートパソコン(以下、ミニノートPC)。“ネットブック”などと呼ばれることもあるこのミニノートPC、5万円前後の価格の安さもあって、最近よく売れているようです。

BCN調べでは、10月のノートパソコンの売上ランキングの1位、2位がミニノートPCとなっており、さらにベスト30のうち6台がミニノートPCとなっています。また、販売台数でもシェア20%に達しています。

新カテゴリー「ミニノートPC」

ミニノートPCは、2008年1月にASUS社が「Eee PC」を発売したことをきっかけにブームが始まりました。当初、画面も小さくデータ保存容量も少ないこの製品を、誰が買うんだ？という懐疑的な見方をする向きもありましたが、その小さなボディや低価格が受け入れられ、たちまちヒット商品となりました。

それほど高性能ではないものの、メインで使用するパソコンとは別にサブマシンとして手軽に持ち歩いてインターネットやメールをしたい、それだけ出来れば十分というユーザーの需要にマッチしたようです。



元祖ミニノート！Eee PC

今までもモバイルパソコンというカテゴリーはありましたが、性能は通常のノートパソコン級のままでバッテリーは長く持ち、頑丈でなければ…などの要求に応えた結果、価格が非常に高くなっていました。ミニノートPCは、それらを一切無視し、必要最小限の性能にすることで低価格を実現しました。

<表1>

	ASUS Eee PC 901-X	Acer Aspire One	東芝 NB100	HP Mini 1000
CPU	Atom N270	Atom N270	Atom N270	Atom N270
液晶モニタ	8.9インチ	8.9インチ	8.9インチ	10.2インチ
画面ピクセル	1,024×600	1,024×600	1,024×600	1,024×600
メモリ	1GB/最大2GB	1GB/最大1GB	1GB/最大1GB	1GB/最大1GB
内蔵ストレージ	12GB SSD	120GB HDD	120GB HDD	60GB HDD
OS	Win XP Home	Win XP Home	Win XP Home	Win XP Home
バッテリー稼働時間	8.3時間	3時間	2.9時間	3.3時間

※ HP Mini 1000は
12月上旬発売予定です。

各機種、性能は横並び

6月頃からASUS社以外の各社からもこの新カテゴリーの新製品が次々に発売されました。しかし、Microsoft社やIntel社がミニノートPCへの部品・製品供給に対して条件を厳しく制限していることもあり、その性能は各社横並びにならざるを得なくなっています。

代表的な機種とその性能は<表1>の通りです。

CPUはすべての機種でIntel社のAtom N270が搭載されており、差がありません。

液晶モニタのサイズ、画面ピクセル、内蔵ストレージ、バッテリー稼働時間も多少異なる程度で、やはりほとんど差がありません。この中では、Eee PC 901-Xのバッテリー稼働時間8.3時間というのが群を抜いています。

注意しなければいけないのは、どの機種も光学ドライブを内蔵していない点です。CDやDVDを使いたい時は、別途、外付ドライブが必要になります。

性能的には大きな差がないので、選ぶポイントは本体のデザインということになるのでしょうか。各社、素敵なデザインを施しているの、お好みで選んでみましょう！

実用上の性能はどうなのでしょう。

インターネットを利用する場合、YouTubeの動画をコマ落ちすることなく見ることができるようです。

また、ワード、エクセル等もストレスなく動作するようです。ただし、画面の縦が狭いのは我慢しなければなりません。それと、本体にワード/エクセルは付属しませんので別途購入しなければいけません…

目的・用途次第では

機能が限定されたミニノートPCですが、使用目的や用途がはっきりしている場合、とても便利な道具になると思います。何よりも持ち運びに便利なその小さなサイズが魅力的です。

興味を持たれた方は、ぜひ一度、手に取って見てはいかがでしょうか。

編集後記 安達太良山が雪化粧を始めると、今年もそろそろ年賀状の準備を始めなくてはと思います。私は年始のあいさつをEメールやインターネットのグリーティングカードサービスで済ませることが多かったのですが、ここ数年はあらためて年賀状を送るようになりました。主にパソコンで作成するのですが、本紙をご覧の方もパソコンで年賀状を作成される方がいらっしゃるのではないのでしょうか。手段はともかく、まごころのこもった年始のごあいさつをしたいですね。(本田)